

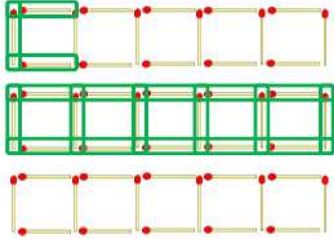
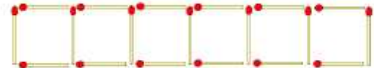
タブレットP C活用授業記録

竹原市立中通小学校

□ 本時の概要

授業日	平成 25 年 6 月 21 日 (金)	学年	第 6 学年	教科等	算数科
単元名	文字と式				
本時の目標	マッチ棒の数を求める式を考え、説明するとともに、文字を使って式に表すことの意味を理解することができる。				
活用アプリ等	エクスチェンジボード				

□ 本時の展開

児童の活動	主な発問・指示 (◇) 及び児童の反応 (・)	指導上の留意点 (○)
1 本時の課題を確認する。	◇一瞬だけ見せます。マッチ棒はいくつあるかな？ ・計算でも求められるね。	○エクスチェンジボードで図を送信する。
マッチ棒の数を求める式を考えよう。		
2 マッチ棒の数の求め方を考える。	◇マッチ棒の数はどのような式で求められますか？  $3 \times 5 + 1 = 16$ 答え 16本 $5 + 6 + 5 = 16$ 答え 16本 $4 \times 5 - 4 = 16$ 答え 16本	○まずは式のみを発表させ、他の児童にどんな考え方をしたのかを説明させる。 ○いくつかの考えを取り上げた後に、電子黒板に一齐送信させ、互いの考えを一度に交流する。
3 正方形の数を6つ、7つと増やした場合について考える。	◇正方形の数を6つ、7つと増やすとどうなりますか？  ・ $3 \times 6 + 1 = 19$ 本 ・ $6 + 7 + 6 = 19$ 本	○正方形の数が5つ、6つ、7つと増えていった図を送信する。
4 変わる数と変わらない数を見つけ、変わる数をaにして、文字を使った式に表す。	◇正方形の数をaとするとどんな式になりますか？ ・ $3 \times a + 1$ ・ $a + (a + 1) + a$	○活動2で出てきた考え方を2～3つだけ取り上げ、数を増やした場合について考えさせる。
5 本時のまとめをする。	◇文字を使うとどんなよさがありますか？	

□ 本時の授業について (授業者のコメント)

エクスチェンジボードを使えば、タブレットP Cに書き込んだ画面をそのまま電子黒板に提示できる。思考力や表現力を高める上で、有効なシステムである。

